

令和7年6月9日

質 問 者
大阪府議会議員 笹川 理

質問予定概要

		質問日	令和7年 6月11日6番
発言の種別	・代表質問	・一般質問	
発 言 の 要 旨		答弁を求める者	
項 目	内 容		
1. 大阪・関西万博「児童生徒招待事業」	・熱中症が懸念される状態をさらに解消するため、できる限りの予防策を講じ、入場ゲート前にもウォーターサーバーを設置していただけないか、博覧会協会との調整状況を伺う。また、悪天候等を理由に、当初の参加予定日を延期し、別日での参加を希望する学校に対しては、予約日の変更について柔軟に対応していただけないか。		水野教育長
2. ギャンブル等依存症対策	・「(仮称)大阪依存症センター」を早期開設すべく、目に見える形で迅速に準備を進めるべきと考えるが、所見を伺う。		西野健康医療部長
3. 「大大阪」をめざした成長戦略 (1) スマートシティ戦略部の方向性	・大阪府の各部局の施策や府内市町村の住民サービス等がDXされ、大阪がスマートシティ化されたと言える状態となれば、スマートシティ戦略部としての役割は終える、そのような状態となることが理想であると考えているが、所見を伺う。 これまで民間企業や自治体で活躍されてきた市瀬部長のご経験も踏まえ、今後のスマートシティ戦略部としての取組みの方向性について、所見を伺う。		市瀬スマートシティ戦略部長
(2) 新大阪駅周辺都市再生緊急整備地域まちづくり	・淡路駅エリアと新大阪駅エリアを一体で捉え、柴島浄水場上系用地をはじめとする地域における公有地の活用を図るなど、都市再生緊急整備地域やその指定を見据えた地域に相応しい「まちづくり」を早急かつ積極的に進めることが重要と考えるが、所見を伺う。		尾花大阪都市計画局長

<p>(3) 大阪に大企業が増えるための戦略的な政策</p>	<p>・大阪経済や府税収入にとって、規模の大きな企業が果たすインパクトは強く、大阪が「東西二極の一極」となるような都市成長を遂げていくためには、在阪の成長促進と流出防止、府内への立地促進など、大企業を始めとした企業のさらなる集積を戦略的に進めていくべきと考えるが、現在検討中の成長戦略『Beyond EXPO 2025』において、どのように考えられているのか、所見を伺う。</p>	<p>松井政策企画部長</p>
<p>(4) 法人超過課税の延長をやめるという判断</p>	<p>・大阪の経済成長や府民所得の向上、府の税収増加のためには、大阪に所在する大企業数を増やしていくことが、極めて重要になると考えており、法人超過課税を撤廃することにより、大企業が大阪で所在したいと思ってもらえるようなメッセージを発信することも大事だと思うが、所見を伺う。</p>	<p>金森財務部長</p>
<p>(5) 大阪に相応しい大都市制度論</p>	<p>・大阪市域における特別区設置において、どのような視点（たとえば、人口や権限など）で、特別区の区割りを行うべきだと考えるか、また、グレーター大阪を形成することの意義はどのようなものかと考えるか、所見を伺う。</p>	<p>吉村知事</p>
<p>4. 府立高校の将来ビジョン（府立高校改革）</p>	<p>・府立高校改革アクションプランを検討するにあたり、将来の府立高校のビジョンについて、どのように考えているか、所見を伺う。</p>	<p>水野教育長</p>